



2022年8月9日

各位

会社名 株式会社ジャパンディスプレイ
代表者名 代表執行役会長 CEO スコット キャロン
(コード番号 6740 東証プライム)
問合せ先 代表執行役 CFO 大河内 聡人
(TEL. 03-6732-8100)

(開示事項の経過) 特別利益計上額の確定、及び営業外収益並びに特別損失計上のお知らせ

2022年5月13日付「(開示事項の変更)『特別利益の計上のお知らせ』の一部変更について」にて、2023年3月期における特別利益(事業構造改善費用戻入益)の計上見込額を開示いたしましたが、この度、計上金額が確定し、本日発表の2023年3月期第1四半期連結会計期間(以下「当第1四半期」といいます。)において計上いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

また、当第1四半期において、営業外収益(為替差益)及び特別損失(減損損失)を以下のとおり計上いたしましたので、併せてお知らせいたします。

1. 特別利益(事業構造改善費用戻入益)の計上(開示事項の経過)

上記開示資料におきまして、当社の中国子会社の株式譲渡に関する債権(以下「本債権」といいます。)の回収額約20億円と回収時における評価額との差額のうち571百万円を、2022年3月期連結決算において特別利益として計上し、残額約10億円を2023年3月期に事業構造改善費用戻入益として特別利益に計上する見込みとなった旨をお知らせいたしました。

今般、本債権の回収額約20億円の入金を2022年7月11日付で確認したことに伴い、当第1四半期決算において、上記残額に相当する1,041百万円を計上することが確定いたしました。なお、個別決算においても1,041百万円を特別利益に計上いたしました。

2. 営業外収益(為替差益)の計上

為替相場の円安進行により、当第1四半期連結決算において、為替差益2,773百万円を営業外収益に計上いたしました。本為替差益は、外貨建て収益・費用の計上時と決済時の為替レート差から生じた他、期末日時点で当社グループの保有する外貨建て資産・負債を同日の為替レートで換算したことにより発生したものであります。

3. 特別損失(減損損失)の計上

生産設備の一部について「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損処理を行い、当第1四半期の連結及び個別決算において、減損損失1,119百万円を特別損失に計上いたしました。

4. 業績に与える影響

上記の特別利益、営業外収益及び特別損失は、本日発表の2023年3月期第1四半期決算短信に反映しております。

なお、本特別利益につきましては、2022年5月13日に公表しました2023年3月期通期の連結業績予想にて、当第1四半期における約10億円の計上を織り込んでいたため、本日発表の「2023年3月期第1四半期連結業績予想と実績との差異（売上高下振れ、損益上振れ）のお知らせ」にて公表しました当第1四半期の連結業績予想と実績の差異に与えた影響は僅少です。

以 上